



ドイツ連邦共和国大使館  
プレスリリース

報道関係各位

2010年9月30日

### ヴルフ大統領と皇太子殿下「日独交流150周年」の名誉総裁に

この度、日独交流が150周年を迎えるにあたり、両国にて実施される交流事業のドイツ側、日本側の名誉総裁に、それぞれクリスティアン・ヴルフ ドイツ大統領と皇太子殿下が就任されることとなりました。

- 「日独交流150周年」事業は、外交関係樹立から来年で150年となるのに合わせ、実施されるものです。両名誉総裁のもとでの同事業実施は、両国が日独関係をいかに重視しているかのあらわれです。

同事業開催の趣旨は、両国間のこれまでの確固とした絆の維持発展に努めるだけでなく、新たな絆を構築し、日独両国を新たなメディアで結び付けることで、「両国の若い世代の心を射止める」ことです。各種記念行事を通じ、特に若い世代の互いの国に対する関心と呼び起こし、高めることを目指していきます。これを実現するため、政治、経済、教育、科学技術、文化、社会、スポーツといった分野において、メディアの注目度の高い大小さまざまな記念行事を実施してゆくことになっています。

日本におけるオープニング行事は、来る10月16日、東京横浜独逸学園にて盛大に開催されます。ドイツ外務省のホルネリア・ピーパー国務大臣が出席し、交流年を公式にスタートさせる予定です。

さらなるハイライトは、日独のロックの祭典「ドイツロックフェスティバル」、京都・鴨川のドイツ文化センター・日独アーティストレジデンスの落成式、日独協会と独日協会の大規模な会合、横浜港大さん橋を会場に1万人規模で開催されるドイツフェスティバルなどです。

■ 「日独交流150周年」公式サイト [www.dj150.jp](http://www.dj150.jp)